LDR-PC880F/M V01

FireWire
DVD ± R/RW UNIT

LDR-PC880F/M

FireWire
DVD±R/RW**ユニット** for Macintosh

ユーザーズマニュアル

Logitec

目　次

必ずお読みください

取扱い上のご注意

■本製品を正しく安全に使用するために

- 本書では製品を正しく安全に使用するための重要な注意事項を説明しています。必ずご使用前にこの注意事項を読み、記載事項にしたがって正しくご使用ください。
- 本書は読み終わった後も、**必ずいつでも見られる場所に保管しておいてください。**

■表示について

- この「取扱い上のご注意」では以下のような表示（マークなど）を使用して、注意事項を説明しています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。

⚠ 警告	この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う危険性がある項目です。
⚠ 注意	この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が障害を負う危険性、もしくは物的損害を負う危険性がある項目です。



三角のマークは何かに注意しなければならないことを意味します。三角の中には注意する項目が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは感電に注意しなければならないことを意味します。



丸に斜線のマークは何かを禁止することを意味します。丸の中には禁止する項目が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは分解を禁止することを意味します。

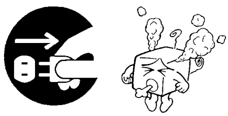


塗りつぶしの丸のマークは何かの行為を行わなければならないことを意味します。丸の中には行わなければならない行為が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは電源コードをコンセントから抜かなければならないことを意味します。

⚠ 警告

●万一、異常が発生したとき。

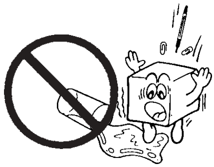
本体から異臭や煙が出た時は、ただちに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。



●内部に異物を入れないでください。

本体内部に金属類を差し込まないでください。また、水などの液体が入らないように注意してください。故障、感電、火災の原因となります。

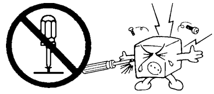
※万一異物が入った場合は、ただちに電源を切り販売店にご相談ください。



⚠ 警告

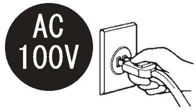
●分解／改造しないでください。

ケースは絶対に分解しないでください。感電の危険があります。
分解の必要が生じた場合は販売店にご相談ください。



●表示された電源で使用してください。

電源コードは必ずAC100Vのコンセントに接続してください。



● AC アダプタを大切に。

AC アダプタのコードは破損しないように十分ご注意ください。
コード部分を持って抜き差ししたり､コードの上にものを乗せると､
被服が破れて感電／火災の原因となります。



●水場で使用しないでください。

浴槽、洗面台、台所の流し台、洗濯機など、水を使用する場所の近傍、
湿気の多い地下室､水泳プールの近傍やほこりの多い場所では使用しな
いでください｡電気絶縁の低下によって火災や感電の原因になります。



●濡れた手で触らないでください。

本製品を濡れた手で触ると感電・故障の原因となります。



●本製品内部のレーザー光線を直視しないでください。

本製品はレーザー光線を使用して記録型メディアへの書き込み､読み込
みを行います｡この光線が直接目にあたると視力障害を及ぼす恐れがあ
りますので､本製品の起動中に内部を除いたり､分解した状態で電源を
入れたりしないでください。



●本製品を小さなお子様の手の届く場所へ放置しないでください。

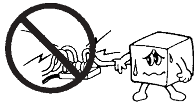
機器を損傷する可能性があるだけでなく､お子様がケガをする危険があ
ります。



⚠ 注意

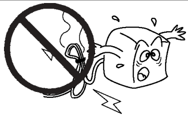
● ACアダプタのコードはなるべくコンセントに直接接続してく
ださい。

タコ足配線や何本も延長したテーブルタップの使用は火災の原因となり
ます。



● ACアダプタのコードは必ず伸ばした状態で使用してください。

束ねた状態で使用すると、過熱による火災の原因となります。



注意

● 本製品の稼動中にACアダプタのコードやケーブル類を抜かないでください。データの損失、機器の故障の原因になります。



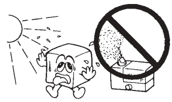
その他の
禁止事項

● コネクタなどの接続端子に手や金属で触れたり、針金などの異物を挿入したりしないでください。また、金属片のある場所に置かないでください。発煙や接触不良などにより故障の原因になります。

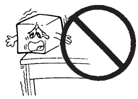


その他の
禁止事項

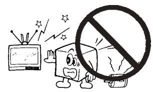
● 高温・多湿の場所、長時間直射日光の当たる場所での使用・保管は避けてください。屋外での使用は禁止します。また、周辺の温度変化が激しいと内部結露によって誤動作する場合があります。



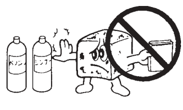
● 本体は精密な電子機器のため、衝撃や振動の加わる場所、または加わりやすい場所での使用／保管は避けてください。



● ラジオ・テレビ等の近くで使用しますと、ノイズを与える事があります。また、近くにモーター等の強い磁界を発生する装置がありますとノイズが入り、誤動作する場合があります。必ず離してご使用ください。



● 本体が汚れた場合は必ず電源を切ってから、柔らかい布に水または中性洗剤を含ませ軽くふいてください。(本体内に垂れ落ちるほど含ませないよう気をつけてください。) 揮発性の薬品（ベンジン・シンナーなど）を用いますと、変形・変色の原因になる事があります。



● 本製品を廃棄する場合は、お住まいの地方自治体で定められた方法で廃棄してください。



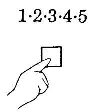
その他の
強制事項

● 本製品で使用するメディアに関しては、購入したメディアの取扱説明書等に従って正しい取扱いをしてください。傷がついたり折れ曲がったメディア等を本製品で使用すると故障の原因となります。



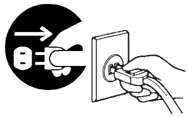
その他の
注意事項

● 電源スイッチを一度ＯＦＦにした時は５秒以上たってから「ＯＮ」にしてください。



注意

●本製品を長期間使用しない場合は、AC アダプタのプラグをコンセントから抜いておいてください。



●映像や音楽作品は著作権法の保護を受けています。本製品のご使用にあたっては、著作権法で定められた範囲を逸脱しないように十分ご注意ください。本製品で変換／保存した映像や音楽作品は、個人的な環境で私的使用する場合以外、著作権利者本人の許諾無く使用する事は、著作権法で固く禁じられています。違法なコピーは絶対に行わないでください



その他の
注意事項

付属品の確認

○DVD±R/RWユニット .... 1 台
○FireWireケーブル（IEEE 1394）（6ピン×6ピン） 1 本
○ACアダプタ .... 1 個
○縦置き用スタンド .... 1 個
○「Toast 6 Lite（Mac OS X環境用）」CD-ROM .... 1 式
○「Toast 5 Lite（Mac OS 9環境用）」CD-ROM .... 1 式
○保証書／ユーザー登録カード .... 1 枚
○DVD±R/RWユニット・ユーザーズマニュアル ...... 本書

※本製品は精密電子機器です。輸送時には必ず付属の梱包材をご使用ください。

ごあいさつ

この度は弊社 DVD ± R/RW ユニットをお買い上げいただきまして、誠に有り難うございました。本書は DVD ± R/RW ユニットに関する設定／接続方法、機能／仕様等についてのご説明をいたしますので、ご使用前に必ずご一読いただきますようお願いいたします。

弊社 DVD ± R/RW ユニットによって、お客様のパソコン環境がより便利なものとなりますよう心からお祈りいたします。

ご注意

①本書の一部または全部を弊社に無断で転載することは禁止されております。

②本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審の点がございましたら、弊社テクニカルサポートまでご連絡くださいますようお願いいたします。

③本製品および本書を運用した結果による損失、利益の逸失の請求等につきましては、②項に関わらず弊社ではいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

④本書に記載されている機種名、ソフトウェアのバージョンなどは、本書を作成した時点で確認されている情報です。本書作成後の最新情報については、弊社テクニカルサポートまでお問い合わせください。

⑤本製品の仕様、デザイン及びマニュアルの内容については、製品改良などのために予告なく変更する場合があります。

⑥ CD-ROM/DVD-ROM ソフトウェアの内容の多くは、著作権法の保護を受けています。運用にあたっては著作権法で許可された範囲を逸脱しないようにご注意ください。

⑦弊社は、本製品の仕様がお客様の特定の目的に適合することを保証するものではありません。

⑧本製品は、人命に関わる設備や機器、および高い信頼性や安全性を必要とする設備や機器（医療関係、航空宇宙関係、輸送関係、原子力関係等）への組み込み等は考慮されていません。これらの設備や機器で本製品を使用したことにより人身事故や財産損害等が発生しても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。

⑨本製品は日本国内仕様ですので、本製品を日本国外で使用された場合、弊社ではいかなる責任も負いかねます。また、弊社では海外での（海外に対してを含む）サービスおよび技術サポートを行っておりません。

＊Macintosh、Mac OSは米国アップルコンピュータ社の商標です。Toast®の名称及びロゴは米国ロキシオ社の商標です。その他本書に記載されているパソコン本体およびその他の機器の名称は併記されている各社の商標または登録商標です。

第１章　ご使用の前に

１．１　製品の特徴

　本製品はFireWire接続に対応した、外付け型DVD±R/RWユニットです。Macintoshに対応したソフトウェアを付属し、DVD+R 2層，DVD+R 1層，DVD+RW，DVD-R，DVD-RW、CD-R、CD-RWの各メディアへの書き込みに対応しています。本製品の主な特徴は以下の通りです。

○ DVD+R2層メディアへの書き込みに対応しています。2層メディアは記録可能容量が8.5GBと大容量ですので長時間映像の録画や、PCデータのバックアップなどの用途に最適です。

○ 高速記録対応DVDメディアを使用することにより、DVD+R 1層メディア/DVD-Rメディアへの8倍速書き込みDVD+RWメディア/DVD-RWメディアへの4倍速書き込みが可能です。もちろんCD-Rメディア/CD-RWメディアへの高速書き込みにも対応しています。
本製品で書込み可能なメディアは、以下の9種類となります。

- 2層DVD+Rメディア　：2.4倍速書き込み
- 1層DVD+Rメディア　：8倍速書き込み
- DVD+RWメディア　：4倍速書き換え
- DVD-Rメディア　：8倍速書き込み
- DVD-RWメディア　：4倍速書き換え
- CD-Rメディア　：24倍速書き込み
- CD-RWメディア　：24倍速書き換え
- DVD-ROMメディア　：最大8倍速読み込み
- CD-ROMメディア　：最大24倍速読み込み

・ 対応するメディアおよび書き込み速度は、「１．２　メディアについて」をご参照ください。

○ データCD-ROMアクセス時には、最大24倍速のCD-ROMドライブとして使用することができます。また、CD-Rメディアには最大24倍速で書き込み、CD-RWメディアには最大24倍速で書き換えが行えます。

○ Macintosh用ライティングソフトウェアに、ロキシオ社製の「Toast 6 Lite」(Mac OS X環境用）と「Toast 5 Lite」(Mac OS 9環境用）を付属しています。

○ バスパワーに対応していますので、パソコンに接続すると、FireWireポートから供給される電源で動作が可能です（※)。

※ バスパワーで動作するためには、パソコン側のFireWireポートも本製品と同じ形状（6ピンタイプ）でなければいけません。

○幅145mm×高さ24mm×奥行き160mmのコンパクトサイズなので、持ち運びに便利で設置に場所を選びません。

○ ディスクローディング方式にスロットローディング方式を採用していますのでメディアのセットが簡単・確実に行えます。

○ 市販のDVDビデオ再生時は自動的に回転速度を落す静音機能を搭載。また、ファンレスタイプですので、製品を使用する際に発生する騒音が最低限に抑えられ、パソコン上でDVDビデオを快適に鑑賞することができます。

使用上の注意事項

- SuperDrive／コンボドライブ／DVD-ROMドライブのいずれかが搭載されていない機種の場合、DVDビデオの再生を行うことはできません。
- DVDビデオの作成はMac OS X（10.2以降）の環境で行う必要があります。Mac OS 9の環境ではDVDビデオの作成、DVD+R 2層メディアへの書き込みはできません。
- 本製品はDVD+Rメディアへの書き込み・読み込みに対応したドライブを採用しておりますが、Mac OS X 10.2.8以前の環境では、記録されたデータを読み込むことができません。
- 市販されているDVDビデオタイトルをバックアップすることはできません。
- 著作権保護機能（CSS、CPPM、CPRM等）やコピー防止機能（COPY CONTROL CD等）が付加されているメディアは複製できません。
- 市販のDVDプレーヤーの中には、DVD+R、DVD+RW、DVD-R、DVD-RWメディアに対応していないものもあります。本製品で作成したDVDビデオが再生可能かどうかは、ご使用のDVDプレーヤの取扱説明書をご参照ください。
- DVDメディアにはラベル等を貼付しないでください。メディアが偏重心を起こし、正常に読み込めなくなる場合があります。
- 本製品で作成するDVDビデオのリージョンコードは「ALL」となります。また、本製品はフェーズ2仕様のドライブであるため、本製品で再生できるDVDビデオは、リージョンコード「2」を含むもの、もしくは「ALL」のものに限定されます。
- Toast 6 Liteで作成するDVDビデオには、登録できるタイトルは2つまでに制限されます。
- VRモードで録画されたDVD-RWメディアを、読み込むことはできません。

1．2　メディアについて

使うことができるメディア

－　その用途では使用できません

メディア名	容量	書き込み速度	読み込み速度
DVD+ R　1層	4.7GB	8 倍速、 4 倍速、 2.4 倍速	最大 8 倍速
DVD+ R　2層	8.5GB	2.4 倍速	最大 4 倍速
DVD+ RW	4.7GB	4 倍速、 2.4 倍速	最大 8 倍速
DVD-R for General Ver.2.0	4.7GB	8 倍速 、 4 倍速、 2 倍速、標準速	最大 8 倍速
DVD-RW Ver.1.1	4.7GB	4 倍速、 2 倍速、 標準速	最大 8 倍速
DVD- Video (CSS有り)	－	－	最大 4 倍速
DVD-ROM　1層	4.7GB	－	最大 8 倍速
DVD-ROM　2層	8.5GB	－	最大 6 倍速
CD- R		24 倍速、8 倍速、 4 倍速	最大 24 倍速
CD- RW		24倍速、10 倍速、 4 倍速	最大 24 倍速
CD- ROM		－	最大 24 倍速

※ Mac OS 9 環境では DVD+R 2 層 メディアへの書き込みを行うことはできません。

※ 本製品は8cmメディアや名刺型メディアなど特殊な形状をしたメディアには未対応です。これらのメディアはご使用にならないでください。

※ DVD/CD メディアへ書き込みを行う際、ドライブ側ではベリファイを行いません。データの書き込みを行った後は念のため読み込みを行って、メディアに正しくデータが書き込まれていることをご確認ください。

※ DVD-RAM メディアはご使用になれません。

推奨メディア

本製品での書き込みには、以下の各社から発売されているメディアをご使用ください。これ以外のメディアに関しては、弊社での保証はいたしかねます。

メディア名	推奨メーカー
DVD+Rメディア 2層	三菱化学メディア
DVD+Rメディア １層	太陽誘電（That's）、日立マクセル
DVD+RWメディア	TDK、三菱化学メディア、リコー
DVD-Rメディア	ソニー、太陽誘電（That's）、TDK、三菱化学メディア
DVD-RWメディア	日本ビクター、三菱化学メディア
CD-Rメディア	太陽誘電（That's）、TDK、日立マクセル、富士写真フィルム株式会社 三井化学、三菱化学メディア
CD-RWメディア	リコー、三菱化学メディア、TDK

※ DVD+R **メディアへの** 8 **倍速書き込みには、高速記録対応** DVD+R **メディア**「DVD+R Ver.1.2」**が必要です。**

※ DVD+R **メディアへの** 4 **倍速書き込みには、高速記録対応** DVD+R **メディアが必要です。**

※ DVD+RW **メディアへの** 4 **倍速書き込みには、高速記録対応** DVD+RW **メディア**「DVD+RW Ver.1.2」**が必要です。**

※ DVD-R **メディアへの** 8 **倍速書き込みには、高速記録対応** DVD-R **メディア**「8X-SPEED DVD-R Revision 3.0」**が必要です。**

※ DVD-R **メディアへの** 4 **倍速書き込みには、高速記録対応** DVD-R **メディアが必要です。**

※ DVD-RW **メディアへの** 4 **倍速書き込みには、高速記録対応** DVD-RW **メディア**「4X-SPEED DVD-RW Revision 2.0」**が必要です。**

※ DVD-RW **メディアへの** 2 **倍速書き込みには、高速記録対応** DVD-RW **メディアが必要です。**

※ CD-RW **メディアへの** 24 **倍速／** 10 **倍速書き込みには、**Ultra Speed+ **タイプまたは** Ultra Speed **タイプの** CD-RW **メディアが必要です。**

ご注意

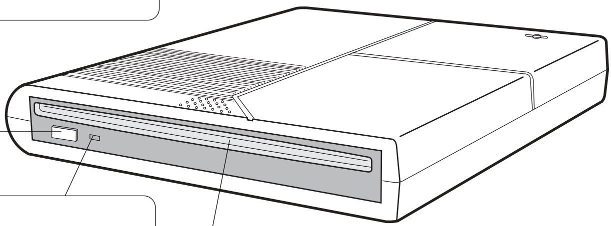
- DVD **メディア、**CD **メディアともに書き込みの際には書き込みを行うソフトウェアから指定する書き込み速度と同じか、それ以上の速度に対応したメディアをご使用ください。**
- DVD **メディアにはラベルなどを貼り付けないでください。メディアが偏重心を起こし、正常に読み取れなくなる場合があります。**

１．３　各部の名称

本製品前面

イジェクトボタン

パソコンで本製品を使用していないときに、メディアをスロットから排出する際に使用します。



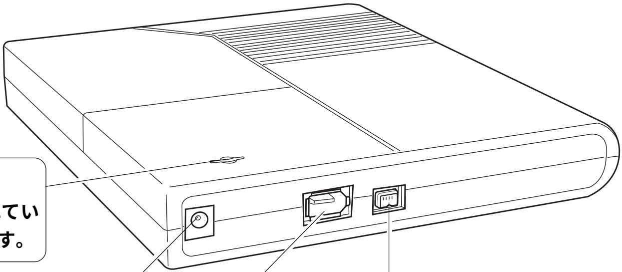
アクセス表示ランプ

本製品に対してアクセスが行われると、オレンジ色に点灯します。

スロット

メディアをセットする部分です。

本製品背面



電源表示ランプ

本製品に電源が供給されているときに緑色に点灯します。

電源コネクタ

付属のACアダプタのプラグを接続します。

FireWire コネクタ（6 ピン）

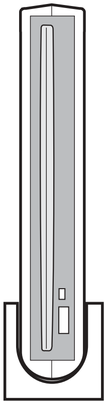
付属の FireWire ケーブル（6 ピン -6 ピン）を使用して本製品とパソコン本体の FireWire ポート、増設 FireWire 機器と接続します。
本製品をバスパワーで動作させるためには、必ずこのコネクタへ接続します。

FireWire コネクタ（4 ピン）

6ピンー4ピンタイプのFireWireケーブルを使用して、パソコンまたは増設 FireWire 機器と接続する場合はこのコネクタを使用します。
（例えば4ピンー4ピンタイプの（DVカメラ等）を接続する場合等にもご使用になれます。）

１．４　設置方向について

　本製品は縦置き、横置きのどちらでも使用することができますが、それぞれ以下のような方向で設置してください。間違った方向で設置すると、トラブルの原因となる場合があります。



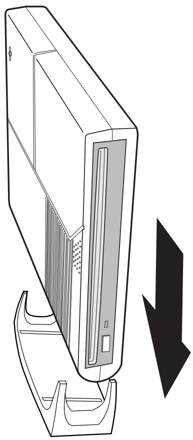
縦置きで使用する場合



横置きで使用する場合

○ 横置きの場合は、ゴム足が貼付してある面を下にしてください。

○ 縦置きの場合は、設置時、付属のスタンドをご使用ください。（右図参照）



１．５　メディアの取り扱いについて

●正しい取り扱いをしないと、データの書き込みが正常に行われない、すでに記録されているデータが損なわれる、ドライブが故障する等の障害が発生する場合があります。
●メディアの取り扱いについては、本ハードウェアマニュアルやご使用のメディアの取扱説明書をよくお読みの上ご使用ください。
●メディアの記録面に、指紋や汚れ、ほこり、傷などがつくと、記録済みのデータが読めなくなったり、記録できなくなる場合があります。
●本製品の使用、または故障により生じたデータの損失ならびに、その他直接、間接の損害につきましては、弊社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

8cmタイプのメディアは使用しないでください。

● 本製品では8cmタイプのメディアや、名刺サイズなどの規格外のメディアには対応しておりません。このようなメディアをセットしないでください。故障の原因となります。

次のような場所には置かないでください。

●ゴミやほこりの多い場所。
●温度、湿度の高い場所、直射日光が当たる場所。
●温度差の激しい場所。（結露が生じます）

取扱い上のお願い

● メディアをケースから取り出すときは、中心部を押さえて取り出してください。ケースへ収めるときはメディアのラベル印刷面を上から押さえて入れてください。
● メディアは指でメディア中央の部分の穴の部分と外側の部分をはさむようにして持ってください。
● メディアの記録面には触らないでください。メディアは印刷されていない方が記録面となります。
● メディアの表面はゴミやほこり、指紋などで汚したり傷つけたりしないでください。
また、落としたり曲げたり、紙を貼ったりしないでください。（書き込み速度が低下したり、記録したデータが読めなくなる原因となります。）
● メディアの印刷面になるタイトル欄に文字などを書込む場合は、必ず柔らかい油性のフェルトペンを使用してください。ボールペン、鉛筆などの先の固いものは、使用しないでください。
● メディアが汚れた場合は、市販の専用クリーナーでクリーニングをしてください。ベンジン、シンナーや静電気防止剤入りのクリーナー等、指定以外のものは使用しないでください。
● キズや汚れからメディアを保護するために、未使用時は短時間であっても必ず保護ケースに収めてください。
● メディアを落としたり、重ねたり、また、メディアに物を乗せたり、衝撃を与えたりしないでください。メディアに無理な力を加えると、データの信頼性を保てなくなります。
● メディアのドライブへのセット方法は「メディアのセットと取り出し」をご参照ください。

第２章　Mac OS X 環境で使用する場合

ここでは Mac OS X 環境で本製品を使用する方法についてご説明いたします。

２．１　ソフトウェアのインストール

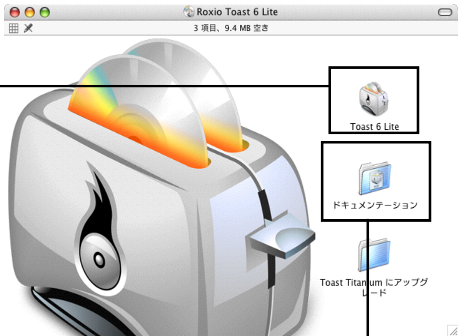
本製品を接続する前に以下の手順で、付属の「Toast 6 Lite」をインストールしてください。

1 Macintosh のシステムを起動して、CD-ROM ドライブに本製品付属の「Toast 6 Lite」CD-ROM をセットしてください。

2 デスクトップにマウントされたCD-ROMアイコンをダブルクリックしてください。

3 以下の画面が表示されます。「Toast 6 Lite」と書かれたアイコンを、起動ドライブの「アプリケーション」フォルダにドラッグ＆ドロップでコピーしてください。

このアイコンを起動ドライブの「アプリケーション」フォルダにドラッグ＆ドロップ



参考：

※ Toast 6 Lite の使用方法はこのフォルダ内に保存されている「Toast 6 Lite クイックスタートガイド」をご参照ください。

4　**起動ドライブの「アプリケーション」フォルダにコピーした「Toast 6 Lite」をダブルクリックして、Toast 6 Lite を起動してください。**

5　**ウィザードが起動しますので、内容を確認し、「続ける」ボタンをクリックしてください。**



内容を確認し、「続ける」をクリック

6　6-1

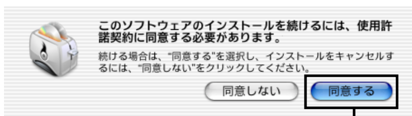
「エンドユーザー使用許諾契約書」が表示されますので、内容ご熟読の上、「続ける」ボタンをクリックしてください。



内容を確認し、「続ける」をクリック

6-2

同意確認の画面が表示されます。「同意する」をクリックしてください。



「同意する」をクリック

※ **「同意しない」ボタンをクリックした場合には、Toast 6 Lite はそのまま終了してしまいます。**

7 **「ユーザー登録」画面が表示されますので、ユーザ名などを入力後、「続ける」ボタンをクリックしてください。**

1. **ユーザ名などを入力**
2. **「続ける」ボタンをクリック**



---

8 **「デジタルハブ」画面が表示されます。「ブランク CD を挿入した後、Toast を立ち上げる」「ブランク DVD を挿入した後、Toast を立ち上げる」にチェックが入っていることを確認し、「続ける」ボタンをクリックしてください。**

1. **チェックが入っていることを確認**
2. **「続ける」ボタンをクリック**



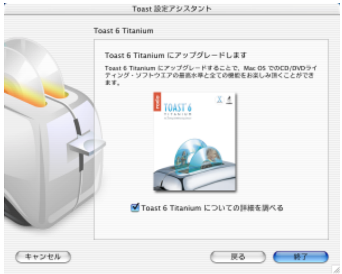
※両方にチェックが入っていると、ブランクの DVD/CD メディアをセットした際に、自動的に Toast 6 Lite が起動するように設定されます。必要のない場合はチェックを外します。

Point　ポイント

ここで行った「デジタルハブ」設定は、「システム環境設定」内「ハードウェア：CD と DVD」で変更することが可能です。

9　「Toast 6 Titanium」画面が表示され、設定は終了になります。「終了」ボタンをクリックするとToast 6 Liteが起動し、DVD/CDメディアへの書き込みが可能になります。

終了ボタンをクリック



以上でソフトウェアのインストールは終了です。いったんToast 6 Liteを終了しCD-ROMをドライブから取り出しておいてください。次に本製品の接続を行います。「２．２　接続方法」へお進みください。

Point　ポイント

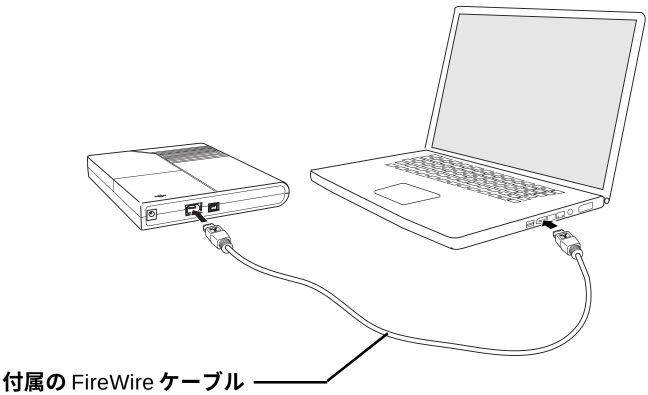
「Toast 6 Lite」をDockに登録しておけば、簡単にアプリケーションを起動させることが可能です。

２．２　接続方法

本製品は、コンピュータのFireWireポートからバスパワーで電源供給を受け使用する方法と、付属のACアダプタを使用してACアダプタから電源の供給を受け使用する方法の２通りの接続方法があります。

※ FireWireポートの配置は、ご使用のMacintoshシリーズにより異なります。接続の前にコンピュータに付属のマニュアル等でご確認ください。

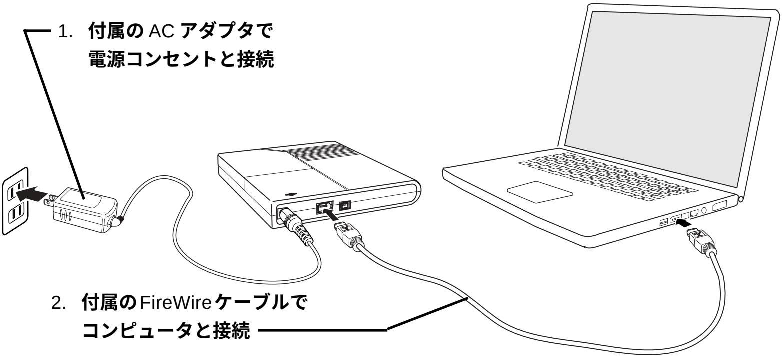
バスパワー接続で使用する場合



バスパワーで使用する場合は、上図のように付属のFireWireケーブルを使用して、コンピュータのFireWireポートと本製品のFireWireコネクタ（6ピン）を接続してください。接続はコンピュータの電源がONの状態でもOFFの状態でも構いません。

※ Macintosh環境の場合、通常はこの接続方法で問題なく動作します。ただし、コンピュータ側のUSBポートなど他のポートでバスパワー対応の機器を使用している場合は、付属のACアダプタを併用する必要があります。

AC アダプタを併用する場合



　この場合は、はじめに付属のACアダプタを使用して本製品の電源コネクタとAC100Vのコンセントを接続し、次に付属のFireWireケーブルを使用して、コンピュータの FireWire ポートと本製品の FireWire コネクタ（6 ピン）を接続してください。接続はコンピュータの電源が ON の状態でも OFF の状態でも構いません。

※ 本製品には4ピンのFireWireコネクタも搭載されておりますが、通常は6ピンのポートを使用し、4ピンのコネクタはFireWire機器を増設する場合にご使用ください。このコネクタはバスパワーには未対応ですので、増設する機器は電源コネクタなどから電源の供給を受けるようにしてください。

ご注意

- 複数のFireWire機器を使用している場合、他の機器が動作しているときに本製品を接続するのはやめてください。トラブルの原因となります。
- 複数の FireWire 機器を接続したい場合は、「４．３　FireWire 機器の増設について」をご参照ください。
- 本製品をバスパワーで使用する場合、パソコン側の電源供給は必ずAC100Vの電源コンセントから受けてください。内部バッテリーから電源の供給を受けている状態で本製品を使用すると、通常予想されるバッテリー消費時間よりも早くバッテリーが消費されるため、結果的に書き込み・読み中に電源がなくなり、エラーが発生する可能性があります。
- 4ピンのFireWireコネクタを使用してパソコンに接続する場合は、必ず付属の AC アダプタを併用してください。

２．３　接続結果の確認

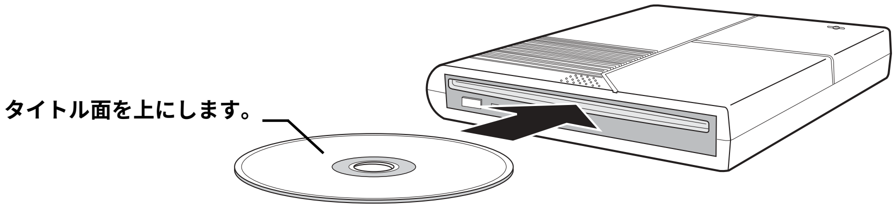
ここまでの作業が終了したら以下の手順で本製品が正しく認識されているかを確認してください。

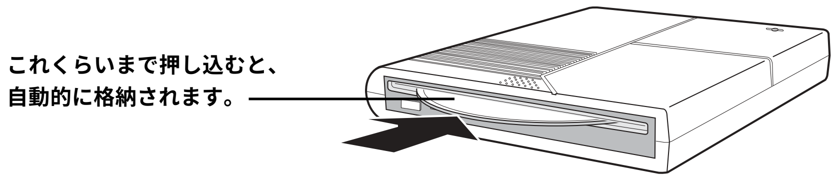
「２．１　ソフトウェアのインストール」でインストールした Mac OS X 用ライティングソフトウェア「Toast 6 Lite」を起動してください。メニューバーの「レコーダ」より「レコーダ設定」を選択してください。「レコーダ設定」ウィンドウが表示されますので、「基本設定」タブ内のレコーダの欄で本製品のドライブ名「Pioneer DVD-RW DVR-K04L」があれば、本製品は正常に認識されています。「Pioneer DVD-RW DVR-K04L」を選択して「OK」ボタンをクリックしてください。これで本製品が「Toast 6 Lite」で書き込みドライブに設定されます。



２．４　メディアのセット／取り出しについて

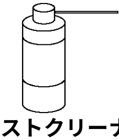
○メディアをセットするときは、本製品の電源が ON になっている状態でメディアをタイトルなどが印刷されている面を上にしてスロットに挿入してください。
メディアを半分以上押し込むと、自動的に格納されメディアがセットされます。
メディアを取り出す際はデスクトップ上で本製品のアイコンをゴミ箱に重ねてください。





ご注意

- 本製品は8cmメディアや名刺タイプなどの規格外のメディアは対応しておりません。これらのメディアは使用しないでください。
- メディアをセットしたまま本製品を移動すると、メディアを損傷する場合があります。損傷を避けるために、本製品の電源を切るときにはメディアがセットされていないことを確認してください。
- DVD メディアにはラベルを貼付しないでください。
- メディアにゴミやホコリが付着しているとエラーの原因になります。メディアの書き込みを行う際には、市販のダストクリーナでエアを吹き付けて、メディアの清掃を行ってください。



ダストクリーナ

２．５　Mac OS X でご使用の際のヒント

■ DVD ビデオを作成する場合

DVD ビデオを作成するには、映像素材の取り込み、オーサリング、メディアへの書き込みの順に作業を行う必要があります。

1. 映像素材の取り込み
   DV カメラなどから映像素材をデータとして取り込むには、アップルコンピュータ社製ソフトウェア「iMovie」をご使用ください。

2. オーサリング、メディアへの書き込み
   オーサリング（取り込んだ映像素材を並べ替えたり、効果を与える作業）から、書き込みまでは本製品に付属のソフトウェア「Toast 6 Lite」を使用して行います。

※ Toast 6 Lite の使い方については、Toast 6 Lite のクイックガイドをご参照ください。

■データの書き込み

データの書き込みは、本製品に付属のソフトウェア「Toast 6 Lite」を使用します。

「Toast 6 Lite」では、「データ DVD」「データ CD の作成」「オーディオ CD の作成」「CD のバックアップ」を行うことができます。

※ Toast 6 Lite の使い方については、Toast 6 Lite のクイックガイドをご参照ください。

■再生

DVD ビデオおよび音楽 CD の再生は、アップルコンピュータ社純正のソフトウェアが使用可能です。

〇 DVD プレーヤ　　：DVD ビデオ再生ソフトウェア

〇 iTunes　　：音楽 CD 再生ソフトウェア

※ SuperDrive/コンボドライブ/DVD-ROM ドライブのいずれかが搭載されていない機種の場合、DVD ビデオの再生を行うことはできません。

※ iTunes を使って音楽 CD の作成を行うことはできません。

２．６　本製品を取り外す場合は

本製品はインターフェースとして FireWire を採用しているため、ホットプラグ（パソコン本体の電源が ON の状態での取り付け・取り外し）が可能です。しかし、これは「いつでも取り外して良い」という意味ではありません。取り外しの際は、以下の点にご注意ください。

- 書き込みを行うソフトウェアが起動しているときに、本製品を取り外してはいけません。取り外しはソフトウェアを終了してから行ってください。
- DVD/CDメディアをマウントしている状態では取り外しを行わないでください。取り外しを行う前に、本製品からメディアを取り出しておいてください。
- 本製品や併用している機器のアクセス中に取り外してはいけません。
- パソコン本体がスリープ状態になっているときは取り外しを行わないでください。

第3章　Mac OS 9 環境で使用する場合

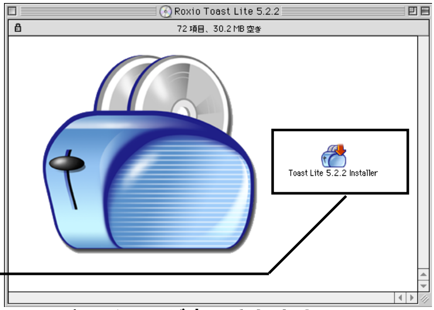
3．1　ソフトウェアのインストール

本製品を接続する前に以下の手順で、付属の「Toast 5 Lite」をインストールしてください。

1 Macintosh のシステムを起動して、CD-ROM ドライブに本製品付属の「Toast 5 Lite」CD-ROM をセットしてください。

2 デスクトップにマウントされたCD-ROM アイコンをダブルクリックしてください。

3 右の画面が表示されます。「Toast Lite x.x.x Installer」と書かれたアイコンをダブルクリックしてください。



このアイコンをダブルクリック

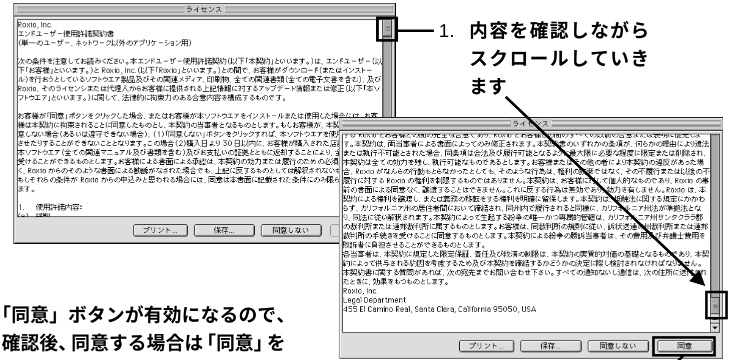
※ x.x.x. の部分にはソフトウェアのバージョンが表示されます。

4 以下の画面が表示されます。「続ける」ボタンをクリックしてください。



「続ける」をクリック

5 **「使用権許諾契約書」の画面が表示されます。内容をご確認の上、「同意」ボタンをクリックしてください。この画面は、一番下までスクロールしなければ「同意」ボタンが有効になりません。**

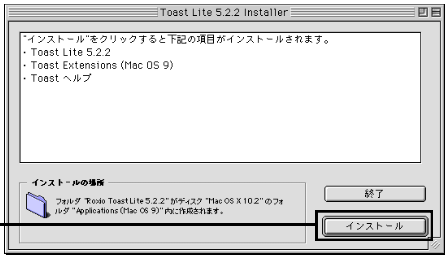


1. **内容を確認しながらスクロールしていきます**

2. **「同意」ボタンが有効になるので、確認後、同意する場合は「同意」をクリック**

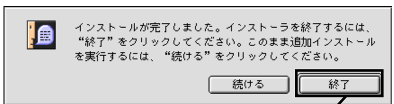
※ここで「同意しない」をクリックするとインストールが中止されます。

6 **以下の画面が表示されます。「インストール」ボタンをクリックしてください。**



「インストール」をクリック

7 **インストールが実行され、終了すると以下の画面が表示されます。「終了」ボタンをクリックしてください。**



「終了」をクリック

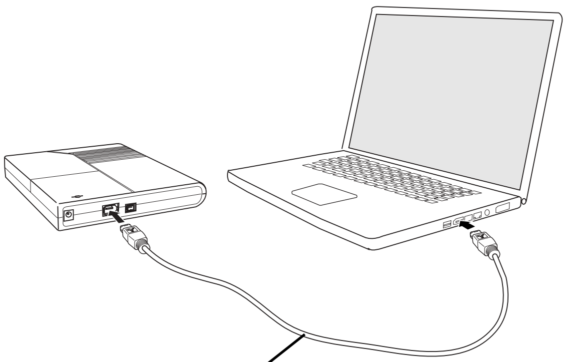
以上でソフトウェアのインストールは終了です。いったん Toast 6 Lite**を終了し**CD-ROM**をドライブから取り出しておいてください。次に本製品の接続を行います。「３．２　接続方法」へお進みください。**

３．２　接続方法

　本製品は、コンピュータのFireWireポートからバスパワーで電源供給を受け使用する方法と、付属の AC アダプタを使用して AC アダプタから電源の供給を受け使用する方法の２通りの接続方法があります。

※ FireWireポートの配置は、ご使用のMacintoshシリーズにより異なります。接続の前にコンピュータに付属のマニュアル等でご確認ください。

バスパワー接続で使用する場合

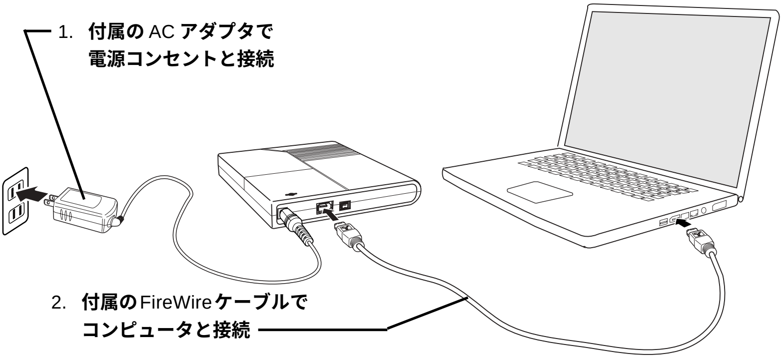


付属の FireWire ケーブル

　バスパワーで使用する場合は、上図のように付属のFireWireケーブルを使用して、コンピュータの FireWire ポートと本製品の FireWire コネクタ（6 ピン）を接続してください。接続はコンピュータの電源が ON の状態でも OFF の状態でも構いません。

※ Macintosh 環境の場合、通常はこの接続方法で問題なく動作します。ただし、コンピュータ側のUSBポートなど他のポートでバスパワー対応の機器を使用している場合は、付属の AC アダプタを併用する必要があります。

AC アダプタを併用する場合



　この場合は、はじめに付属の AC アダプタを使用して本製品の電源コネクタと AC100V のコンセントを接続し、次に付属の FireWire ケーブルを使用して、コンピュータの FireWire ポートと本製品の FireWire コネクタ（6 ピン）を接続してください。接続はコンピュータの電源が ON の状態でも OFF の状態でも構いません。

※ 本製品には 4 ピンの FireWire コネクタも搭載されておりますが、通常は 6 ピンのポートを使用し、4 ピンのコネクタは FireWire 機器を増設する場合にご使用ください。このコネクタはバスパワーには未対応ですので、増設する機器は電源コネクタなどから電源の供給を受けるようにしてください。

ご注意

- 複数の FireWire 機器を使用している場合、他の機器が動作しているときに本製品を接続するのはやめてください。トラブルの原因となります。
- 複数の FireWire 機器を接続したい場合は、「４．３　FireWire 機器の増設について」をご参照ください。
- 本製品をバスパワーで使用する場合、パソコン側の電源供給は必ず AC100V の電源コンセントから受けてください。内部バッテリーから電源の供給を受けている状態で本製品を使用すると、通常予想されるバッテリー消費時間よりも早くバッテリーが消費されるため、結果的に書き込み・読み中に電源がなくなり、エラーが発生する可能性があります。
- 4 ピンの FireWire コネクタを使用してパソコンに接続する場合は、必ず付属の AC アダプタを併用してください。

３．３　接続結果の確認

**　ここまでの作業が終了したら以下の手順で本製品が正しく認識されているかを確認してください。**

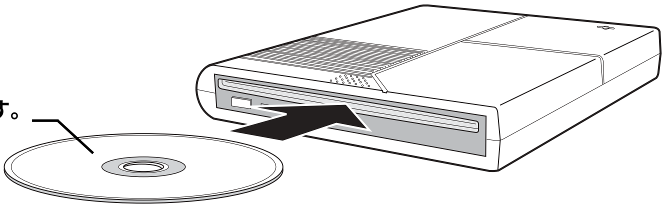
「３．１　ソフトウェアのインストール」でインストールした Mac OS 9**用ライティングソフトウェア「**Toast 5 Lite**」を起動して、メニューバーの「レコーダ」から「レコーダ情報」を選択し、「レコーダ情報」ウィンドウでポップアップメニューに本製品のドライブ名「**Pioneer DVD-RW DVR-K04L**」」があれば、本製品は正常に認識されています。「**Pioneer DVD-RW DVR-K04L**」」を選択して「**OK**」ボタンをクリックしてください。これで本製品が「**Toast 5 Lite**」で書き込みドライブに設定されます。**



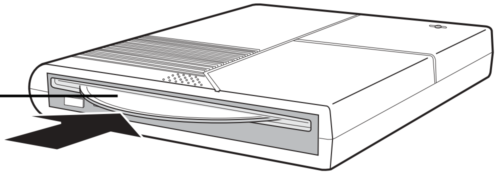
３．４　メディアのセット／取り出しについて

○メディアをセットするときは、本製品の電源が ON になっている状態でメディアをタイトルなどが印刷されている面を上にしてスロットに挿入してください。
メディアを半分以上押し込むと、自動的に格納されメディアがセットされます。
メディアを取り出す際はデスクトップ上で本製品のアイコンをゴミ箱に重ねてください。

タイトル面を上にします。

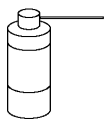


これくらいまで押し込むと、
自動的に格納されます。



ご注意

- 本製品は8cmメディアや名刺タイプなどの規格外のメディアは対応しておりません。これらのメディアは使用しないでください。
- メディアをセットしたまま本製品を移動すると、メディアを損傷する場合があります。損傷を避けるために、本製品の電源を切るときにはメディアがセットされていないことを確認してください。
- DVD メディアにはラベルを貼付しないでください。
- メディアにゴミやホコリが付着しているとエラーの原因になります。メディアの書き込みを行う際には、市販のダストクリーナでエアを吹き付けて、メディアの清掃を行ってください。



ダストクリーナ

３．５　Mac OS 9 でご使用の際のヒント

■データの書き込み

データの書き込みは、本製品に付属のソフトウェア「Toast 5 Lite」を使用します。

「Toast 5 Lite」では、「データ DVD」「データ CD の作成」「オーディオ CD の作成」「CD のバックアップ」を行うことができます。

※ Toast 5 Lite の使い方については、PDF 形式の Toast 5 Lite のマニュアルをご参照ください。

■再生

DVD ビデオおよび音楽 CD の再生は、アップルコンピュータ社純正のソフトウェアが使用可能です。

○ Apple DVD Player　：DVD ビデオ再生ソフトウェア

○ iTunes　：音楽 CD 再生ソフトウェア

※ SuperDrive/ コンボドライブ /DVD-ROM ドライブのいずれかが搭載されていない機種の場合、DVD ビデオの再生を行うことはできません。

※ iTunes を使って音楽 CD の作成を行うことはできません。

ご注意

Mac OS 9 環境は、DVD ビデオの作成および２層 DVD+R への書き込みには対応しておりません。

３．６　本製品を取り外す場合は

本製品はインターフェースとして FireWire を採用しているため、ホットプラグ（パソコン本体の電源が ON の状態での取り付け・取り外し）が可能です。しかし、これは「いつでも取り外して良い」という意味ではありません。取り外しの際は、以下の点にご注意ください。

・書き込みを行うソフトウェアが起動しているときに、本製品を取り外してはいけません。取り外しはソフトウェアを終了してから行ってください。

・DVD/CD メディアをマウントしている状態では取り外しを行わないでください。取り外しを行う前に、本製品からメディアを取り出しておいてください。

・本製品や併用している機器のアクセス中に、取り外してはいけません。

・パソコン本体がスリープ状態になっているときは取り外しを行わないでください。

第４章　補足事項

４．１　トラブルシューティング

●本製品がまったく認識されない。

- ケーブルの接続に接触不良等がないかどうか確認してください。
- 電源コードの接続やコンセントの状態に問題がないかどうかを確認してください。
- 使用 OS のバージョンに問題はありませんか？
- 本製品をハブ経由で接続している場合は、パソコンのポートに直接接続して試してみてください。

●本製品がライティング･ソフトウェアから認識されない。

- ソフトウェアを起動してから、本製品を接続しませんでしたか？本製品は必ずソフトウェアを起動する前に接続してください。
- ライティングソフトウェアは最新版のものを使用していますか？同じソフトウェアでもバージョンが古いと本製品に対応していない場合があります。

●イジェクトボタンを押してもトレイが排出されない。

- Mac OS X 環境でご使用の場合は、「２．４　メディアのセット／取り出しについて」をご参照ください。
- Mac OS 9 環境でご使用の場合は、「３．４　メディアのセット／取り出しについて」をご参照ください。

●特定の DVD-ROM をアクセスできない。

- そのメディアはDVD+Rメディアではありませんか？DVD+Rメディアは Macintosh 環境では Mac OS X 10.3 以降でのみお使いになれます。
- そのメディアは「２」以外のリージョンコードを持つ DVD ビデオではありませんか？　そのメディアは著作権者によって日本国内で再生することを禁止されていますので、本製品で再生することはできません。

●本製品で作成したDVDビデオが市販のDVDプレーヤーで再生できない。

・市販のDVDプレーヤーの中には、DVD+R、DVD+RW、DVD-R、DVD-RWメディアに対応していないものもあります。本製品で作成したDVDビデオが再生可能かどうかは、DVDプレーヤに付属の取扱説明書等でご確認ください。

●パソコン上でDVDビデオが再生できない。

- SuperDrive/コンボドライブ/DVD-ROMドライブを搭載していない機種では、本製品を使用してDVDビデオの再生はできません。
- ご使用のOSがMac OS 9の場合、DVDビデオ再生用のソフトウェアはインストールしていますか？本製品にはDVD再生用のソフトウェアは付属しておりません。DVD再生用ソフトウェアがない場合、別途アップルコンピュータ社ホームページより入手していただく必要があります。
- リージョンコード「２」以外のDVDビデオを再生しようとしていませんか？これは日本以外の国を対象としたDVDビデオですので、本製品では再生できません。
- リージョンコードの書き換えを行っていませんか？

●メディアの書き込み時にエラーが多発する。

- 適切な使用環境で使用していますか？　本製品の使用環境については、「４．２使用環境について」をご参照ください。

●その他：ホームページについて

○ 弊社、およびロキシオジャパン株式会社ではインターネット上にホームページを開設しています。ホームページには最新情報が掲載されている場合もありますのでご活用ください。

ロジテック株式会社
　ホームページアドレス：http://www.logitec.co.jp/

ロキシオジャパン株式会社
　ホームページアドレス：http://www.roxio.co.jp/

４．２　使用環境について

本節では本製品を使用する場合に必要なシステム環境（パソコン本体、メディアなど）の条件について説明します。必ずここに記載された環境条件下で本製品をご使用ください。

■パソコン本体

アップルコンピュータ社

iMac（Flat Panel 以降）　eMac
Power Mac G5　Power Mac G4 FW800
Power Mac G4 Mirrord Drive Doors
Power Mac G4 QuickSilver 2002
Power Mac G4 QuickSilver
Power Mac G4 Gigabit Ethernet
Power Mac G4 Digital Audio
Power Mac G4 AGP Graphics
Power Mac G4 Cube
iBook G4　iBook（Dual USB 以降）
PowerBook G4

※Power Mac G4 （PCI Graphics）は未対応です。
※SuperDrive/コンボドライブ/DVD-ROM ドライブを搭載していない機種では、DVD ビデオの再生はできません。

■対応 OS

Mac OS X 10.2 以降
Mac OS 9.2.2

※全て日本語 OS に限定されます。また、パソコン本体が対応していない OS では使用することができません。

※DVD+R メディアの読み込みには、Mac OS X 10.3 以降の環境が必要です。

※ご使用の際は、スクリーンセーバーおよび省電力設定は OFF にしてご使用ください。

■その他

　本製品付属のソフトウェアを使用して、以下のメディアからの読み込みを行うことはできません。

・VR モードで録画された DVD-RW メディア

※ すべてのPC 環境、およびDVD レコーダー／プレーヤー環境での再生／記録互換性を保証するものではありません。

■ Windows 環境での使用について

本製品は別途 Windows **用ソフトウェアを購入することにより、**FireWire（IEEE1394）**ポートを搭載したパソコンでの使用が可能です。**

対応パソコン

　本製品は各社の DOS/V パソコン、および NEC PC98-NX シリーズのうち、以下の条件を満たす機種で使用することができます。

〇 IEEE1394 ポートを搭載していること。

※ CPU**やメモリ、ハードディスク内の必要空き容量などは、ご使用になるソフトウェア環境に準じます（できるだけ高速な**CPU／**大容量メモリ／大容量**HD**ドライブを搭載した環境での使用を推奨します。**

対応 OS

Windows XP　HomeEdition/Professional
Windows Me
Windows 98 Second Edition（*1 ）
Windows 2000 Professional

*1　Second Edition でない Windows 98 は対象外となります。
また、マイクロソフト社のホームページよりIEEE1394アップデータを導入する必要があります。詳しくはマイクロソフト社のホームページ内で「サポート技術情報　242975 - W98SE: IEEE 1394 デバイス ドライバのアップデートについて」をご参照ください。

ご注意

・**本製品は日本電気株式会社** PC-9800 **シリーズでは使用できません。**
・**最新の情報につきましては、弊社ホームページをご参照ください。**

ロジテック株式会社
ホームページアドレス：http://www.logitec.co.jp/

■取り外しについて

本製品はインターフェースとして IEEE1394（FireWire）を採用しているため、Windows 環境でもホットプラグ（パソコン本体の電源が ON の状態での取り付け・取り外し）が可能です。しかし、これは「いつでも取り外して良い」という意味ではありません。本製品を取り外す場合は、以下のような点に注意してください。

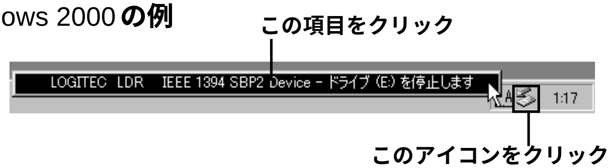
- 書き込みを行うソフトウェアが起動しているときに、本製品を取り外してはいけません。取り外しはソフトウェアを終了してから行ってください。
- 取り外しを行う前に、本製品からメディアを取り出しておいてください。
- 本製品や併用しているIEEE1394機器へアクセス中に、取り外してはいけません。

※上記の点を確認の上、以下の手順でアンプラグ操作を行なってから、本製品の取り外しを行ってください。（Windows 98 Second Edition では、この操作を行うためには、IEEE1394 ドライバのアップデートが必要です。）

①本製品にセットされたメディアからアプリケーションやデータファイルが開かれていないことを確認してください。

②本製品を接続した状態では、タスクバーのシステムトレイに以下のようなアイコンが表示されます。このアイコンをクリックして、さらに表示されるポップアップ項目をクリックしてください。（ここで表示される項目の内容は使用 OS によって異なります。）

Windows 2000 の例



Windows XP の場合

「LOGITEC LDR IEEE1394 SBP2 Device- ドライブ （E:）を安全に取り外します。」

Windows Me の場合

「IEEE1394 CD-ROM - ドライブ(E:)の停止」

Windows 98 Second Edition の場合

「1394/USB CD-ROM - ドライブ(E:)の停止」

Windows 2000 の場合

「LOGITEC LDR IEEE1394 SBP2 Device- ドライブ（E:）を停止します」

ポイント

いずれの場合も「E:」は本製品のドライブ名ですので、環境によって異なります。

③デバイスを安全に取り外すことができることを示すウィンドウが表示されます。「OK」ボタンをクリックしてください。

Windows 2000 **の例**



OK **ボタンをクリック**

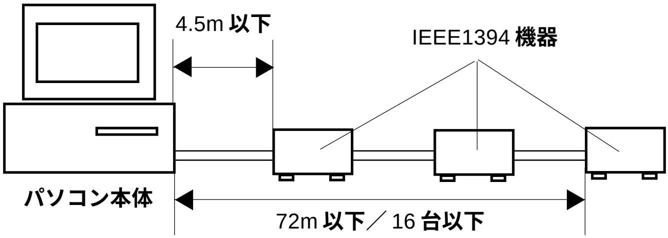
ポイント

- **このウィンドウに表示されるメッセージも使用** OS **によって異なります。**
- Windows XP **の場合は、「ハードウェアの取り外し」のフキダシが出て、自動的に消えるので、特に操作をする必要はありません。**

④接続に使用しているケーブルを取り外し、本製品の電源を OFF **にして、電源コードをコンセントから抜いてください。**

４．３　FireWire 機器の増設について

本製品のように FireWire コネクタを２個装備している FireWire 機器は数珠つなぎ（デイジーチェーン型）に増設することができます。

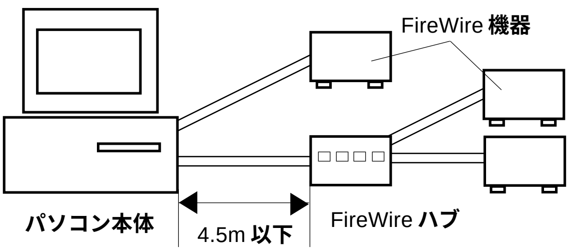


このような接続を行う場合、一本のケーブルの長さは最大 4.5m まで、ケーブル長の合計は最大 72m までに制限されます。また、FireWire 機器の台数は 16 台以下（パソコン本体を含まない）に制限されます。

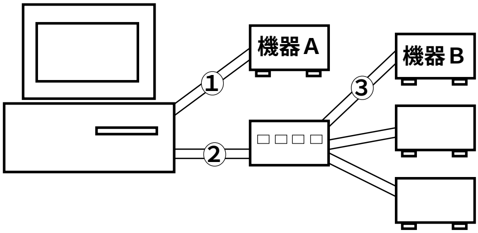
ご注意

デイジーチェーン型に増設する場合、ホットプラグ（電源ON 状態での取り外し）を行う機器は終端に接続してください。中間の機器をホットプラグで取り外すと、他の機器に影響を与える場合があります。

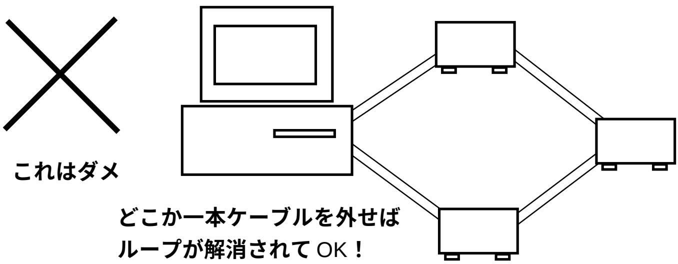
FireWire コネクタを複数装備したインターフェースボードや、FireWire ハブを使用すると、接続を分岐させて「ツリー型」に増設することができます。この場合も１本のケーブルは最大 4.5m 以下です。接続台数は 62 台以下（パソコン本体を含まない）です。



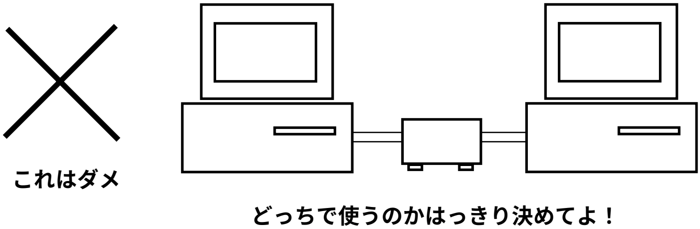
　また、ツリー型の場合、FireWire機器間で経由できるケーブルの本数に最大16本という制限があります。例えば下図の「機器Ａ」と「機器Ｂ」の間には３本のケーブルが使用されています。このようにカウントしたときに、どの機器の間にも16本を越えるケーブルがあってはならないという制限です。



　ツリー型の接続では接続形態が複雑になりがちですが、接続の中にループ（たどっていくと元に戻ってしまうような接続）があってはいけません。



　また、接続の中にパソコン本体が２台以上あってはいけません。



Memo

ハードウェア仕様

<table>
<tr><td colspan="3">機種名</td><td>LDR - PC880F / M</td></tr>
<tr><td colspan="3">ローディング方式</td><td>スロットローディング方式</td></tr>
<tr><td colspan="3">バッファメモリ</td><td>2MB</td></tr>
<tr><td colspan="3">バッファアンダーラン機能</td><td>有り</td></tr>
<tr><td colspan="3">インターフェース</td><td>IEEE 1394a - 2000</td></tr>
<tr><td colspan="3">コネクタ形状</td><td>FireWire コネクタ 6ピン × 1
FireWire コネクタ 4ピン × 1</td></tr>
<tr><td colspan="3">ドライブメーカー</td><td>PIONEER</td></tr>
<tr><td rowspan="7">書き込み速度
*1 *2</td><td colspan="2">DVD+R 2層</td><td>2.4 倍速</td></tr>
<tr><td colspan="2">DVD+ R 1層</td><td>8 倍速 / 4 倍速 / 2.4 倍速</td></tr>
<tr><td colspan="2">DVD+ RW</td><td>4 倍速 / 2.4 倍速</td></tr>
<tr><td colspan="2">DVD- R</td><td>8 倍速 / 4 倍速 / 2 倍速 / 標準速</td></tr>
<tr><td colspan="2">DVD- RW</td><td>4 倍速 / 2 倍速 / 標準速</td></tr>
<tr><td colspan="2">CD- R</td><td>24 倍速 / 8 倍速 / 4 倍速</td></tr>
<tr><td colspan="2">CD- RW</td><td>24 倍速 / 10 倍速 / 4 倍速</td></tr>
<tr><td rowspan="7">読み込み速度
*1</td><td colspan="2">DVD- ROM (1 層)</td><td>最大 8 倍速</td></tr>
<tr><td colspan="2">DVD- ROM (2 層)</td><td>最大 6 倍速</td></tr>
<tr><td colspan="2">DVD ビデオ （ CSS 有り ）</td><td>最大 4 倍速</td></tr>
<tr><td colspan="2">DVD+ R 1層、DVD+ RW</td><td>最大 8 倍速</td></tr>
<tr><td colspan="2">DVD+ R 2層</td><td>最大 4 倍速</td></tr>
<tr><td colspan="2">DVD- R、DVD- RW</td><td>最大 8 倍速</td></tr>
<tr><td colspan="2">CD- ROM、CD- R、CD- RW</td><td>最大 24 倍速</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="11">記録方式</td><td rowspan="2">DVD+ R</td><td>Sequential Recording 方式</td></tr>
<tr><td>Multi Session方式</td></tr>
<tr><td>DVD+ RW</td><td>Random Write方式</td></tr>
<tr><td rowspan="3">DVD- R</td><td>Disc at once方式</td></tr>
<tr><td>Incremental recording方式</td></tr>
<tr><td>Multi Border方式</td></tr>
<tr><td rowspan="3">DVD- RW</td><td>Disc at once方式</td></tr>
<tr><td>Restricted Overwriting方式</td></tr>
<tr><td>Incremental Recording方式</td></tr>
<tr><td rowspan="2">CD- R
CD- RW</td><td>Track at once方式 / Disc at once方式</td></tr>
<tr><td>Session at once方式 / Packet write方式</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="3">記憶容量</td><td>DVD+ R 2層</td><td>片面ディスクで 8.5 GB</td></tr>
<tr><td>DVD+ R 1層
DVD+ RW
DVD- R、DVD- RW</td><td>片面ディスクで 4.7 GB 以下</td></tr>
<tr><td>CD- R
CD- RW</td><td>80分ディスクで 700 MB 以下
70分ディスクで 650 MB 以下</td></tr>
</table>

平均アクセスタイム			DVD - ROM : 150 ms
			CD - ROM : 130 ms
最大データ転送速度　（I/F）*3			400 Mbps
メディアとの最大データ転送速度 *3	DVD - ROM		最大　10800 KB / s
	DVD+ R DVD + RW DVD- R DVD - RW		最大 7900 KB / s
	CD - ROM / CD-R		最大　3600KB / s
	CD - RW		最大　3600 KB / s
DVD - ROM 関係	フェーズ		フェーズ　2
	リージョンコード		「2」に設定済み
環境条件 *4	動作時	温度	10 ℃ ～ 35 ℃
		相対湿度	20 % ～ 80 %
	保管時	温度	－ 10 ℃ ～ 50 ℃
		相対湿度	10 % ～ 90 %
入力電圧			AC 100V ± 10 %　　50/ 60 Hz
消費電力　（定格）			8 W　　*5
外形寸法　幅 × 高さ × 奥行き			145× 24 × 160 mm *6
質量			400 g　*7
設置方向			水平／垂直

*1　DVDメディアは1385KB/sを標準速とし、CDメディアは150KB/sを標準速とします。記載されている速度は全てUSB 2.0 （High-Speed）での使用時のものです。CDメディアをUSB 1.1接続で使用する場合、書き込み・読み込みともに8倍速未満に制限されます。

*2　設定速度に対応したメディアをご使用ください。

*3　理論値

*4　ただし、結露なきこと

*5　ACアダプタ含む

*6　横置き時、突起部を除く

*7　本体のみ

LDR-PC880F/M V01

ロジテック株式会社